肩こりといった身近な、実践、に

コミュニティ、

医療、

国際交流

面

での実践、

あるいは笑い

Psychologist

No.58 ● 2012年7月

9

第25回大会記念特別号(新生日本健康心理学会各種委員会活動紹介)

あり、 効果に関するシンポジウムも企 学への期待」についてお話 場 画されています。 メンタルヘル ただきます。 ーションの観 ルス対策に関するセッション 予防教育や勤労者のメンタル 大きなテー 講演3件・シンポジウム13件 面 もう1つの柱は ″現場や臨 喫煙、 一での トータル・ヘルスプロ 河野慶三先生の特別 実践、です。 マの1つは、予防、で また、 スに及ぼす予防 点からの健康 栄養摂取が 被災地、 講 心 理 モ 演 41

っています。 内容も多彩で充実したものとな プログラムは、件数だけでなく くも1ヶ月余りとなりました。 開催される第25回大会まで、 東京家政 月1日 大学板橋キャンパ 土, 2日 日 ス で クセーション技法等による介入

⑧身体疾患患者、 ⑤ポジティブ心理学、 動、④食行動やライフスタイル、 ③エクササイズやスポーツ活 的研 研究等の発表があります。 乳幼児を対象とした臨床 ログラム開発、 大学生のメンタルヘルス、 ②ストレス調査研究、 7看護師、 障害児 ⑥健康プ

り上げた日本酒 けるよう工夫しています。 も多くの方が自由にご覧いただ 間を従来よりも長くし、 京家政大学の学生がお米から作 リンクラブによる音楽演奏や東 スター会場にお出で下さい 者の在籍時間に限らず、 今大会ではポスターの掲示時 東京家政大学マン (数量 ぜひ 少 ノしで 発表 ポ

に掲載していますので、 関する企 ポスター発表142件 よびシンポジウムの情報はH 画 があります。 ①リラ ぜひご 講演 P

と身体を一層健康にしてくれる 、口さばけがよく風味豊かな昔 ます。弦楽器の柔らか 定 ことと思います。 の越後酒~の白藤は、 ならでは〟の企画を予定してい 0) 試飲など、、東京家政 皆様 音色や の心

お待ちしています! います。 た全大会日程をHPで公表して すでに、 皆様のお越しを心より ポスター発表を含め



第25回大会準備委員会 スタッフ 同

東京家政大学でお待ちしています!

機関誌編集委員

副委員長 遠藤公久

点が変わることになりました。新しくなりました。新体制のもと、以下の新集委員会は、石原委員長を中心にして

⑴ 投稿システムが電子化されます

始まり、 された論文は J-STAGE にて掲載されま るまで、全ての過程が電子化されます。 取り、そして採択が決定してから掲載に至 行されることになりました。初回投稿から No.1 は直に刊行されますが、 次の No.2 を 前の紙ベースの冊子に代わりまして、採 最後に投稿システムは完全に電子化に移 在の Vol.24 No.2 までおよそ250本程 いたします。 和文論文が掲載されてきました。Vol.25 これまで、本学会では Vol.1 No.1 詳細につきましては、 、その後の何回かの審査者とのやり 後日皆様にご案 から 従 度

(2) 特集号を組みます

ミュニケーション」「病気認知」「がん」「ス(リラクセーション)」「心臓疾患」「医療コ「食行動」「喫煙行動」「感染症」「身体活動定です。例えば、「レジリエンスやSOC」定です。何とは、「レジリエンスやSOC」

よろしくお願いいたします。との際にはどうぞご協力と思います。その際にはどうぞご協力でも、後日ご案内いたします。本編集委員について、健康や予防の視点から特集いたピリチュアリティ」等々さまざまなテーマピリチュアリティ」等々さまざまなテーマ

⑶ 英文誌がヴァージョンアップします

No.1からNo.13までの間、年に1度Japa nese Health Psychologyを刊行してまいりました。しかし、投稿数の減少を受けまして、2006年から休刊しております。このたび、田中理事長のもとに、国際交流このたび、田中理事長のもとに、国際交流とがコラボして、Asian Journal of Health Psychology(仮称)の刊行に向けて現在Psychology(仮称)の刊行に向けて現在しましたら、後日ご案内申し上げますが、しましたら、後日ご案内申し上げますが、そちらにもどしどしご投稿ください。

よろしくお願いいたします。どうぞ極的なご投稿を期待しております。どうぞ大に努めて参りたいと思います。皆様の積何よりも会員の皆様の投稿チャンスの拡さらなる迅速化、学会誌の国際化、そしてこのように、新体制になり、論文審査の

資格認定委員会

委員長 森 和代

おります。

一般社団法人日本健康心理学会の資格のます。

一般社団法人日本健康心理士、専門健康心理士の3種の資格保持者は1000人余りです。資理士、指導健康心理士の3種の資格認定を認定委員会では、健康心理士、専門健康心理をあることは、検討すべき課題であると考えています。現在、有効期限内にある3理士、指導健康心理士の3種の資格認定を開発を表す。

ます。 ・理士の国家資格問題が検討され始め 心理士の国家資格問題が検討され始め 心理士の国家資格問題が検討され始め 心理士の国家資格問題が検討され始め

た、会員の個人情報に、資格申請の時期おの12年7月を目標にしております。まいます。ホームページへの掲載時期は2と、ホームページに申請の手引きを掲載した、中請手続きをわかりやすくすることを挙げています。このために、更新なことを挙げています。このために、更新ないます。ホームページに申請の手引きを掲載した、会員の個人情報に、資格更新の促進をするのと、会員の個人情報に、資格更新の促進をするのと、会員の個人情報に、資格更新の促進をすると、会員の個人情報に、資格申請の時期お

いては、 を目指しております。 をされている事例の情報発信に努め、具体 込むことも予定しております。 的な活動に関する展望を明確にすること 健康心理士の資格を活用して社会で実 には対処できるよう準備をしております。 効化・活性化を挙げております。 改革の重要な長期目標としては 更新予定の時期に関 学会ホームページやニューズレタ 情報発信の手段につ する情 20 開報を組 実際 13

ことを実感しました。これまでの努力が着実に実を結び始めたた人事募集が行われていたことを発見し、隣地域の自治体で、健康心理士に限定され進されつつあります。最近、筆者所属の近進康心理士についての社会的認知も推

ろしくお願い致します。意見等お寄せ頂ければ幸いに存じます。よ討して行きたいと考えておりますので、ご会員の皆様からのご要望を前向きに検

研究推進委員会

委員長 山田富美

WHO/医学系の価値観で

健康心理学は、医学と心理学との境界領 を行動原理とします。 を行動原理とします。 を行動原理とします。 を行動原理とします。 を行動原理とします。

委員会と協力し、ニーズにあった研

修を行

研修

ーを中心に検討しております。また、

えております。

くための支援も充実させて行きたいと考

健康心理士がスキルアップを図って

グループ研究を推進

ついて、会員が主体的にとりくむグループ要する課題や、計画的に推進すべき課題にを会員に情報提供するだけでなく、火急を新生健康心理学会では、最新の研究課題

研究の組織化を推進します。具体的には、研究の組織化を推進します。 具体的に対していたを配分する予算案を理事会で承認していただきました。詳細はホームページ上で公募だきました。詳細はホームページ上で公募けるの会員におかれては、案内をご覧くだけの会員におかれては、案内をご覧くだけが、

25回大会では主催シンポ

のよきモデルにしたいと思って に特集論文として掲載し、 開発など今後必要な研究課題の提案等を行 煙セラピスト構想、 禁煙問題の今日的意義、 てはならないのか?~」を企画しています。 なぜ健康心理学会で禁煙研究を推進しなく ウム「健康心理学会禁煙研究最前線~今、 中 秋 の学術大会では、 シンポのまとめは、 若手からの 最新禁煙支援ツールの 申請をお待ちします。 本委員会がシンポジ 健康心理出身の禁 グル 直近の学会誌 1 、ます。 プ研究会

国際委員

員長津田 彰

味した独自の展開を遂げています。 のディシプリン(discipline)は、研究と実 のディシプリン(discipline)は、研究と実 して発展を続けています。またアジア諸国 して発展を続けています。またアジア諸国 として発展を続けています。またアジア諸国 して発展を続けています。またアジア諸国 して発展を続けています。またアジア諸国

遅れをとっているのが現状です。米の追試一辺倒です。しかも、少ない標本相関研究が主流を占めており、世界標準の相関研究が主流を占めており、世界標準の相関研究が主流を占めており、世界標準のしかしながら、わが国の健康心理学は欧

ています。

このような状況を踏まえて、国際委員会として、他の常置委員会と連携しながら、
として、他の常置委員会と連携しながら、

から着手していきたいと考えております。まずは、会員の皆様とともに、次の課題

① 学会誌の国際化

取り組みが急務の課題となります。わが国このためには、英文雑誌の復刊に向けた

の一つの方法かと考えます。 なシステム作りです。open journal 化はそに、海外の研究者が簡単に投稿できるよう学会として支援する場を提供するとともから世界に発信できる健康心理学の知見をから世界に発信できる健康心理学の知見を

(2) 国際会議への積極的参加と交流

行う予定です。 学会員の国際活動を支援し、活性化しま 学会員の国際活動を支援し、活性化しま 学会員の国際活動を支援し、活性化しま 学会員の国際活動を支援し、活性化しま

を願っています。 を願っています。 を願っています。 と願っています。 と願っています。 と願っています。 と願った と願っています。 と願っ先 と願っています。 と願っ先 と願っています。 と願っ先 と願っています。 と願っ先

広報・ニューズレター委員会

副委員長 大木桃代

割を担っています。に幅広く発信し、その魅力をお伝えする役学会員および健康心理学に関心を持つ方々康心理学会や健康心理学に関する情報を、康心理学会や健康心理学に関する情報を、広報・ニューズレター委員会は、日本健

ジン、 致します。 容は異なりますので、 信ツールを設定しました。それぞれ情報内 会では、 そこで今期の広報・ニュー (3)ホームページという3つの情報発 (1)ニューズレター、 以下、 (2) 簡 ズ 単にご メ レター 1 ル

(1)ニューズレター

致します。 とし、次号第59号より「完全リニューアル」とし、次号第58号は第25回大会記念特別号ます。今号第58号は第25回大会記念特別号イコロジスト」は、継続して年3回発行し従来からあるニューズレター「ヘルスサー

いきます。どうぞお楽しみにお待ち下さい。学会の活動に関する情報を主にお伝えして蛩、③学会の動向や大会のレポートなど本理学の研究と実践の橋渡しに役立つ情報、理学の研究と実践の橋渡しに役立つ情報、リニューアル版の「ヘルスサイコロジスリニューアル版の「ヘルスサイコロジス

Vision

および

健康心理学の研究・実践者が行うべ

(2)メールマガジン

性を活 というツールの特色であるスピードと簡 学の研究に関するコラム記事です。 送付するメールに添付してお届けします。 ピックスを中心として、 です。 内容は主に学会関連の情報と、 メールマガジンは今回新 初回のメー !かした内容にしたいと考えていま 健康心理学の ルマガジンは9月頃に発信 研研 学会員の皆さんに 究」に関するト しく設けたツ 健康心 メー 便ル 理

ホームページ

(3)

お伝えします。 お伝えします。 一次大会や研修会、認定健康 が理士に関する情報、学会誌「健康心理学 提供します。年次大会や研修会、認定健康 関心を持つ方々に、学会の一般的な情報を 関心を持つ方々に、学会の一般的な情報を

様もホームページをご覧下さい。に完全リニューアルする予定です。ぜひ皆ジになっていますが、来年1月からはさら、現在すでに6月までとは違うホームペー

感想もお寄せいただければ幸いです。覧になった学会員の皆様からのご意見やご活動にもぜひご期待下さい。各ツールをごに活動している元気な委員会です。今後のこの委員会は、若手・中堅の委員を中心

研究・実践活動支援委員会

委員長 野口京子

「研究・実践活動支援委員会」は、2011 「研究・実践活動支援委員会」は、2011

ず、その認知度が低いことと関連するので も研究する能力があり、 根差した実践ができる人」、すなわち、 はないでしょうか。健康心理学の「研究に が素晴らしい学問分野であるにもかかわら 遅れていると思います。これは健康心理学 の研究成果を積極的に社会に生かすことが を創り出す方法を探究してきましたが、 る能力もある人が必要です。 本学会では、 研究活動を積み重 研究成果を利用す ね、 自ら そ 康

活動を、 ように、 理学の目標に向かって研究、 す。また、この体制が安定しかつ継続性 会、機関誌編集委員会、 ある組織基盤となり、本学会員が、 きの両輪です。本委員会は、 賞の選考に当たっては、 理論と実践は健康心理学が進んでい 社会的要請の高い健康心理学の実践 公募、委託、 実践活動奨励賞を設けました。 奨励により支援 国際委員会等と連 当面の活動方針 実践 研究推進 してい 健康心 心しま 一委員 くと 0)

き将来像への広げ方を考えて、対象は

想、実践であること。 (1)健康心理学の理論・研究を基盤とする発

すもの。(2)社会が抱える課題への対応、解決を目指

携を行うもの。 省、警察庁、各教育庁等)への提言と連省、警察庁、各教育庁等)への提言と連

すね。

などが挙げられますが、学会員が中心になどが挙げられますが、学会員が中心になり他の地域の団体との連携した実践活動なり他の地域の団体との連携した実践活動なり他の地域の団体との連携した実践活動などが挙げられますが、学会員が中心になどが挙げられますが、学会員が中心に

いたします。 研究・実践活動の成果を年次大会で報告

大学生の性感染 心 理学からの 症 アプ 防 チ

愛知大学地域政策学部





こすものがあるため、 また、 健康教育の充実が求められ 期を対象に、 に重篤な健康被害 Approach(以下、HAPA) zer 博士が提唱する Health Action Process ンドーム使用行動を説明するモデルとして 「コンドーム使用行動」 AIDS患者数を記録している。 防に努めなければならない現状がある。 ワクチンやA がりに増加し、2011年には過去最多 クにその後3年間はピークを超えずに 生労働 H I V が 性感染症の中には、 国 (『健康心理学研究』Vol.24 No.2 かを検討した。 にお 性感染症の予防法の一 /AIDSを含めた性感染症 性感染症の予防を目的とした ける 2 0 1 1) IDSの根治療法がな Η AIDS患者数は右 Ι 性行動が始まる青年 に着目し、 V 不妊症) 感染者報告 感染に気づか 2 0 0 ている。そこで、 が大学生のコ を引き起 8年をピ つである 数 Ι

2 つの APAについて概説すると、 、動機づけ段階・ 意図 Н A P 段 階 Α

> して、 と計画の影響を受け 動機づけ段階で形成された行動意図 と考えられている。続く意図段階は、 図を発達させる過程 に分かれている。 と仮定されている。 動を実行するための詳細な計画を導く。 の行動へと導く過程である。意図段階 が影響を与えており、これらの 目標とする健康 目標とする健 リスク知覚、 康行動は、 結果予期、 行動の意図を形成する 行動を生じさせる 影響を受け 自己効力感 動 意図 行 では、

動 PAによって大学生の のモデルの適合度は十分な値を示 モデル検証を行った。その結果、 が説明されることが示され 本研究では、大学生を対象に質問調査 共分散構造分析を用いてH コンドーム Н 0) Α A P A P A 使 用 Η Α 行

意図」 ともに、 性感染症に感染しているかもしれな を身に着けていないこと、 では、有意な介入効果が期待できない あることが考えられ 染症に対するリスクを低く見積もる傾向 原因として、 紹介すると、「リスク知覚」から「予防行 いうリスク知覚を喚起するだけの健康教 各変数間の影響性の結果の一 へのパスが有意ではなかった。 「正しい知識を持って性行動を行 結果予期、 性感染症に関する正確な知識 自己効力感を高 そのため、 あるいは、 部に 自 0 この 性感

> すため のリ 」というコンドームの 自 一分が性が 、スク教 育も必 感染症に感染する 一要があること 使 用 行 かも 動 を促

感を高めることに焦点を合わせる必要性が せる健康教育では、 目的としたコンドームの このことから、 と表記)」から「コンドームの使用行動の 己効力感(本文中では、 ンドームを使用することに対する自 合」への正の影響性 一方、「コンドームの 大学生の性感染症の予防 が高いことが示され 状況に左右されずにコ 使用 Action self-efficacy 使用行動を促 行動に対する自

調査時点までに性交経験がない大学生 る必要がある。 めた検討を行い、 査時点では性交経験がない調査対象者を含 る経年的な調査を実施することにより、 った点である。 APAのモデル検証に含むことができなか 性交経験がある大学生のみの 促進させる健康教 本研究の限界としては、 今後は、 コンドー 育 0 プロ 前向きの調 ムの グラムを提 査時点までに 結果となり、 使用 行動を 査によ

教育学』 ちの方は、2012年4月に出版され 読 最後に、 いただければ幸い 性感染症の予防等に興味をお 松浦 編 である。

Information

は

ぜひご参照ください。

0

で申 ルホー

を予定され

7

A

~

1

ジに

と掲載致

しま

資格認定委員会では20

1 2

手引きを作成致しました。

DF版として2012年7

まし

た。

0

改

訂

に

基

資格認定細

削

の改定が承認さ

資格認定委員会 委員長 康心 理士コ 森 ナ 和代

П

大きな変更点は、

H

本心理

たつい

しております。 の今後のさらなるご活躍 が承認されました。 |導健康心理士更新4名の合格 6月の委員会で健康心理 新規1名合格・ 専門健康心理士更新 更新 12名の皆様 に期待 4 33名、 士5

(2) 資格申請の手引きについ

7

では、 更新、 た理事会にお 0) れております。 心 本健康心理学会認定健康心理 理士資格申請 明確化を目標に検討を重 認定健康心理士の資格 2012年6月に行われ 手引きに示された手続き 昇格の方法は、 e V て 資格認定委員会 の手引きに示さ 般社 認定健 团 申 ね 請

> 2013年3月までとしたこ したことなどです としたこと、 格を大学院における学び 的活用と、 諸学会連合・心理学検定 ただし20 添付書類での 経過措置の 門健康心 13 い申請 年3 を 理 士の 期限 を基 月 可 0 積 ま 能

ます。 れた方法による申請も受け 2 0 0 9 版手引きに示さ 付

③第25回大会の活動に つ (1 て

くださ ので、 ります。 では、 健康心理士会の なご参加をお ておりますの い時間 H 本健 枠が設定されてお 0 不明な点はお問い 健康心理士相談コ 康心理学会第25 また、 待ち で、 会合も企 皆様の 大会期 申 Ĺ Ĕ. 画さ 積 間 合わ ります 1 げ 口 |大会 7 極 ナ 的 n せ ĺ

(4)会員資格に つ (1 7

動退会の 理学会の になって 3 種 ₹ — を3年 0 会員 おり 般社 健 動退会を問 康 いとなります。 間滞納した場合自 ます。会員資格は であることが要件 団法人日 心 理士資格 わず 本健 は、

> 留意ください 同 時 n た場合 13 無 は健康 となり つますの 心 理 士資格 で、

Ł

(5)試験につい

します。 だしどちら 東京と大阪 参りました。 年1回東京での実施の る必要がある場合、これまで 施する予定にしております。 資格申請のために試 0) 2か所で試験を 2 方での受験と 1 2 年 いみとし 試験 を受 度 実

行います。 まで通り、 括 カリキュラム 申請 校につきましてはこ 年 i 0) 回 |各地 認定を受け で 面 接 れた

ださい ジに掲載 験要領は9月以降に 末以降を予定して 試験実施 致 時 しますのでご参 期 は お 例 ルホー 'n 年 ŧ 通 4 す。 ŋ ~ 11 試月

(6)事務局につい 7

れ が ま İ 資格認定事務局 した。 業務委託することが 月以降閉鎖 の措置 L 玉 は、 際文 20 献 承 印 1 刷

学会員の皆様へ

▶住所変更等の連絡をお願いします

現在、会員の中で住所が不明な方が多くいらっしゃいます。学会本部として郵便物の送付をはじめ、種々の連絡ができない状態にありま す。住所が不明な会員のリストは、ホームページ (▶http://jahp.world.coocan.jp/jahp/)に掲載されています。会員の皆様で、住所不 明の会員の新住所、また連絡先をご存知の方は、学会本部事務所 (メールアドレス♪ jahp-post@bunken.co.jp / 電話番号♪03-5389 -3025)までご連絡いただけると幸いです。なお、住所不明のままでは自然退会扱いになります。

本年度会費納入のお願い

日本健康心理学会は一般社団法人化に伴って、事業年度が7月1日から6月末日に変わりました。これに伴い、平成24年度の会費納 入請求が現在行われています。請求書には、過去の会費納入状況が記されています。会費をまだ納入していない会員は、納入してく ださいますようにお願いいたします。ホームページ上の 「会員専用ページ (マイページ)」 欄でご確認ください。

申込日

→FAX 03-3368-2822

月

Н

年

※入会申込書に必要事項をご記入の上、コピーし、事務局あてに FAX でお申し込みください。(連絡先は【自宅・勤務先】を推奨します)

氏 名	フリガナ							
	ローマ字							
生年月日	19	年	月	日生				
	₹							
現住所								
	WD1				A 37			
	TEL			- F	AX			
所属機関 ・勤務先								
現職名								
	₹							
所在地								
	TEI.				A W			
	TEL			Г	AX			
学問領域								
研究内容								
職務内容								
最終学歴 または 現学歴			大学		学部		専攻	
			大学院		専攻			
			卒業(修了) 年度	年度			
主な所属学会								
紹介者								

ヘルス・サイコロジスト No.58

Health Psychologist 2012.7

発行 2012年7月30日

編集・発行 日本健康心理学会

受付番号

本部事務局 日本健康心理学会本部事務局

T169-0075

東京都新宿区高田馬場 4-4-19

㈱国際文献印刷社内 TEL: 03-5389-3025 FAX: 03-3368-2822

ホームページ http://jahp.world.coocan.jp/

jahp/

製作 ダイヤモンド社

入会のご案内

日本健康心理学会は、現在約2.300名の会員から構成され、毎月さまざまな方か ら入会のお申し込みをいただいております。当学会は専門の研究者 — 心理学、医学、 教育学、社会福祉学、看護学、栄養学、体育学、公衆衛生学、生物学などの領域 - はもちろん、健康心理学、心と体の健康問題に関係のある仕事をしている方々で も入会できます。企業の方々や小中高校の先生方なども入会しておられます。

入会されますと、年次大会(年一回)、セミナー、研究集会への参加ができ、ニュー ズレター「ヘルス・サイコロジスト」や学会機関誌「健康心理学研究」が送付されます。 入会金3,000円、年会費7,000円です。

入会ご希望の方は上掲の入会申込書に必要事項をご記入のうえ、左記まで FAX で お送りください。

【機関誌の原稿募集中】

『健康心理学研究』の原稿(和文・英文)を随時募集しています。左記住所「日本 健康心理学会本部事務局機関誌編集委員会」担当・高橋尚子までご送付ください。